

令和 7 年度千葉市あんしんケアセンター 運営事業実績について

1 総合相談事業- 1

度 項目		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	対前年度比増加率
相談者実人数		2 1, 3 3 9 人	2 2, 2 7 3 人	2 4, 1 5 9 人	8. 5 %
相談者延人数		8 3, 5 4 4 人	7 7, 7 5 7 人	8 0, 7 5 6 人	3. 9 %
相談件数合計		1 2 3, 3 5 9 件	1 1 6, 5 4 2 件	1 2 4, 5 9 0 件	6. 9 %
総合 相談 内容 別 件 数 【 重 複 あ り 】	介護保険制度	6 0, 8 8 2 件 (4 9. 4 %)	6 0, 2 9 9 件 (5 1. 7 %)	6 4, 2 3 6 件 (5 1. 6 %)	6. 5 %
	認知症等	1 2, 3 4 5 件 (1 0. 0 %)	1 0, 7 2 1 件 (9. 2 %)	1 1, 8 1 2 件 (9. 5 %)	1 0. 2 %
	医療・保健	1 1, 4 4 2 件 (9. 3 %)	1 0, 5 3 8 件 (9. 0 %)	1 0, 8 4 9 件 (8. 7 %)	3. 0 %
	安否確認（見守り）	4, 7 2 8 件 (3. 8 %)	3, 8 2 9 件 (3. 3 %)	4, 0 7 0 件 (3. 3 %)	6. 3 %
	施設入所	6, 2 4 8 件 (5. 1 %)	5, 7 3 8 件 (4. 9 %)	5, 6 7 8 件 (4. 6 %)	—1. 0 %
	ケアマネ支援	4, 4 5 7 件 (3. 6 %)	3, 7 9 6 件 (3. 3 %)	4, 2 7 9 件 (3. 4 %)	1 2. 7 %
	個人の悩み事	4, 8 0 0 件 (3. 9 %)	4, 4 5 1 件 (3. 8 %)	4, 4 9 5 件 (3. 6 %)	1. 0 %
	経済的問題	3, 4 9 8 件 (2. 9 %)	2, 6 4 9 件 (2. 3 %)	2, 8 3 0 件 (2. 3 %)	6. 8 %

1 総合相談事業- 2

年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年度比増加率
項目					
総合相談内容別件数 【重複あり】	家族の問題	2, 229 件 (1. 8%)	2, 042 件 (1. 8%)	2, 583 件 (2. 1%)	26. 5 %
	虐待(疑いを含む)	1, 197 件 (1. 0%)	1, 346 件 (1. 2%)	1, 485 件 (1. 2%)	10. 3 %
	成年後見制度	1, 513 件 (1. 2%)	1, 203 件 (1. 0%)	1, 396 件 (1. 1%)	16. 0 %
	保健福祉制度	2, 120 件 (1. 7%)	1, 854 件 (1. 6%)	1, 971 件 (1. 6%)	6. 3 %
	通いの場 地域資源	2, 527 件 (2. 0%)	2, 887 件 (2. 5%)	3, 056 件 (2. 4%)	5. 9 %
	住居・転居関係	1, 889 件 (1. 5%)	1, 607 件 (1. 4%)	1, 685 件 (1. 3%)	4. 9 %
	エンディングサポート	267 件 (0. 2%)	276 件 (0. 2%)	415 件 (0. 3%)	50. 4 %
	日常生活自立支援事業	272 件 (0. 2%)	282 件 (0. 2%)	214 件 (0. 2%)	-24. 1 %
	その他	2, 945 件 (2. 4%)	3, 024 件 (2. 6%)	3, 536 件 (2. 8%)	16. 9 %
訪問延件数		15, 056 件	13, 598 件	13, 230 件	-2. 7 %

2 一般介護予防事業

一般介護予防事業実施状況(回数)

項 目	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率
					対前年度比
介護予防普及啓発事業 ※1		1,275回	1,249回	1,417回	13.5%
地域介護予防活動支援事業 ※2		1,917回	1,939回	1,850回	-4.6%

一般介護予防事業実施状況(人数)

項 目	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率
					対前年度比
介護予防普及啓発事業 ※1		33,143人	34,595人	32,306人	-6.6%
地域介護予防活動支援事業 ※2		27,632人	28,482人	31,285人	9.8%

※1 あんしんケアセンターが主催（講演会の開催、区民まつりでの普及啓発等）

※2 住民が主催（ボランティアの育成、地区活動組織への支援・協力等）

3 地域ケア会議

地域ケア会議実施状況（機能別分類）

項 目	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	増減率	
					対前年度比	
個別課題の解決		136回	120回	166回	38.3	%
地域づくり・地域課題の 発見・ネットワーク構築等		142回	152回	103回	-32.2	%
合計		278回	272回	269回	-1.1	%

4 あんしんケアセンター職員向け会議・研修等について

会議等名称	開催回数	内容
あんしんケアセンター 管理者会議（全体会議）	4回	各あんしんケアセンターの管理者を集め、情報共有や議案検討を行った。
あんしんケアセンター 運営会議（区単位の会議）	46回	各区の支援担当職員が、あんしんケアセンター管理者を集め、活動実績等の報告や課題・取組の情報交換や協議を行い、共通の課題抽出や解決に向けた検討を行った。
行政対象暴力対策研修会	1回	不当要求等の行政対象暴力への基本的な対応要領を習得し、職員の対応力向上を目的とした研修を受講した。
千葉県地域包括支援センター 職員研修	初任者：1回 現任者：1回	センターの役割、業務内容、専門職との連携等について理解し、知識の習得及びスキル向上を目的とした研修を受講した。
地域包括支援センター 職員研修	基礎：1回 課題別：2回	センターの役割、業務内容、専門職との連携等について理解し、知識の習得及びスキル向上を目的とした研修を受講した。
高齢者虐待防止対策研修	1回	高齢者虐待法の解説と高齢者虐待の背景について、社会福祉士が講演を行った。
管理者研修	1回	「フレイル改善事業（モデル事業）の実際と、自立支援に向けた関わりについて」をテーマとした研修を受講した。 （※あんしんケアセンター職員、生活支援コーディネーターも受講。）

5 運営実績（自己評価）項目別①

第1号介護予防支援

※自己評価（5段階選択）

- A 目標や計画等で期待されている水準を大幅に上回っている
- B 目標や計画等で期待されている水準を上回っている
- C 目標や計画等で期待されている水準とほぼ同程度
- D 目標や計画等で期待されている水準を下回っている
- E 目標や計画等で期待されている水準を大幅に下回っている

- ・インフォーマルサービスの活用に向けて、生活支援コーディネーターと協働しながら情報収集を行い、提供することができた。
- ・関係機関や多職種と連携しながら、自立支援に向けたケアマネジメントの推進に取り組むことができた。

自己評価	A	B	C	D	E
選択したセンター数	5	17	6	0	0

総合相談支援

- ・高齢者のみならず、家族についても支援が必要な場合は関係機関へ繋ぐなど、各機関と連携し、家族全体を支援することができた。
- ・関係機関等とのネットワークを活用しながら、相談者の気持ちに寄り添いながら迅速かつ適切に対応することができた。

自己評価	A	B	C	D	E
選択したセンター数	10	16	2	0	0

5 運営実績（自己評価）項目別②

権利擁護

※自己評価（5段階選択）

- A 目標や計画等で期待されている水準を大幅に上回っている
- B 目標や計画等で期待されている水準を上回っている
- C 目標や計画等で期待されている水準とほぼ同程度
- D 目標や計画等で期待されている水準を下回っている
- E 目標や計画等で期待されている水準を大幅に下回っている

- ・高齢者虐待防止研修を行い、圏域内の事業所と虐待を早期発見するための関係を構築することができた。
- ・高齢者の詐欺・悪質被害等の防止のため、住民やケアマネジャーに対し注意喚起を継続的に行うことができた。

自己評価	A	B	C	D	E
選択したセンター数	10	14	4	0	0

包括的・継続的ケアマネジメント支援

- ・ケアマネジャー向けの研修を実施し、個々の資質向上・連携強化につなげることができた。
- ・地域ケア会議を実施し、千葉市や企業等と高齢者の見守り体制等について検討することができた。

自己評価	A	B	C	D	E
選択したセンター数	10	12	6	0	0

5 運営実績（自己評価）項目別③

一般介護予防 （介護予防普及啓発・地域介護予防活動支援）

※自己評価（5段階選択）

- A 目標や計画等で期待されている水準を大幅に上回っている
- B 目標や計画等で期待されている水準を上回っている
- C 目標や計画等で期待されている水準とほぼ同程度
- D 目標や計画等で期待されている水準を下回っている
- E 目標や計画等で期待されている水準を大幅に下回っている

- ・介護予防イベントでは、医療機関や地域等と連携しながら介護予防の普及啓発を図ることができた。
- ・生活支援コーディネーターと連携し、介護予防等の講座や認知症カフェの開催等の後方支援を行うことができた。

自己評価	A	B	C	D	E
選択したセンター数	10	15	3	0	0

総括

- ・複合化する相談が増加したが、関係機関と連携を図り、早期解決に向けた取り組みを行った。
- ・相談件数が増加したが、相談者に丁寧に向き合い、迅速に支援を行うことができた。

自己評価	A	B	C	D	E
選択したセンター数	5	20	3	0	0